

## ハムとは？ 1-2

# いつでも，どこでも， だれでも CQ CQ CQ

私たちの住んでいる地球，この地球を取り巻く広い宇宙には，たくさんの電波が飛び交っています．テレビの電波，ラジオの電波，携帯電話やPHSの電波，遠い外国から送られてくる短波放送の電波，人工衛星からの電波，そして，ひょっとしたら火星人の出す電波も混じっているかもしれません．

さて，このたくさんの電波に混じって聞こえてくる，とても楽しそうな通信があります．そう，“CQ CQ”と近所の，そして世界中の仲間呼びかけているアマチュア無線の通信です．

世界中にはたくさんの無線局がありますが，アマチュア無線ほどありとあらゆるところに散らばっている無線局はありません．上を見ながら街を歩いていると，きっとアマチュア無線のシンボルであるアンテナが眼に入ることでしょう．

\*

世界的にみれば，都会地はもちろん，南極にある各国の越冬隊の基地に



街を歩いていると，普通の民家の屋根の上にテレビ用とはちょっと違ったアンテナを見ることがある．これがアマチュア無線用のアンテナだ．

マイクに向かって世界の友と語り合うとても素晴らしい趣味．これがハムの世界だ

### Keyword



CQ，アンテナ，アマチュア局

ハムを楽しんでいる人は世界中にいる。南国の椰子の木立にそびえ立つハムのアンテナ。  
きっと南の国の楽しい話題を届けてくれるだろう



も、アフリカの奥地にも、オーストラリアの砂漠の中にも、あるいはアルプスの山の中にも、さらに太陽がさんさんと降り注ぐ南の島にもハムがいます。

また、日本でいえば、南の果ての沖縄から北の果ての北海道まで、もちろん小笠原も、また周辺にある小さな島々にも、かならずといっていいほどハムがいます。

みなさんもよくご存じの冒険家 堀江謙一さんもヨットで太平洋横断をするときに、必ず無線機を船に積み込み、サポートしているハム仲間との連絡に使用したり、時間のある時には多くのハム仲間と交信を楽しんでいます。



『太平洋ひとりぼっち』で有名な堀江謙一さんもハムの仲間。1996年には資源の有効利用をテーマにアルミ缶リサイクル材製ソーラーパワーボートで南米エクアドルから東京までの1万6千キロの航海に成功した



日本人宇宙飛行士第一号の毛利 衛さんも7L2NJYのコールサインを持つハム。1992年9月にスペースシャトル・エンデバー船中から、地球のハムとの交信を行った。  
写真提供：宇宙開発事業団(NASDA), NASA

またあの宇宙飛行士 毛利 衛さんもハムなんです。毛利さんはスペースシャトルの中から、地球のハムと交信を行いました。

そして、現在建設が進められている宇宙ステーション(ISS), この宇宙ステーションとの交信に、2001年11月に国内では初めて埼玉県入間市の児童センター無線クラブの小中高生14名が成功しています。

この交信は、国際宇宙ステーションに乗り込んでいるアメリカ人フラン



ISS から日本の小中高生と交信したフランク・カルバートン宇宙飛行士  
写真はNASAのホームページより

日本で初めてISSとの交信に成功！！  
緊張しながらも流暢な英語でカルバートン宇宙飛行士と交信する中学生ハム



ク・カルバートン宇宙飛行士がVHF帯(144MHz帯)のFMモードを使って電波を出し、ISSが日本上空を通過する約10分間、埼玉県入間市のクラブ局と交信しています。国際宇宙ステーションが完成したあかつきには、常設のアマチュア無線局が設置されるかもしれません。

あなたがアマチュア無線を始めると、居ながらにして日本の、世界の、そして宇宙の旅が楽しめるというわけです。



＊

さらに今お茶の間で人気者のえなりかずき君も小さいときからアマチュア無線を楽しんでいます。

ハムには、性別や年齢の壁はまったくありませんし、地位や職業の壁もありません。小学生からお年寄りをはじめ女性まで、だれでも対等に楽しめる趣味なのです。孫にあたる小学生とおじいさんがアマチュア無線という共通の立場で会話ができる、こんな趣味も珍しいといえるでしょう。

お茶の間で人気者の“えなりかずき”君も7L4UPMというコールサインを持つハム。写真手前は弟の正元さん。コールサインは7M4HMN。家族全員がハムの免許を持っている

